

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1472900776
法人名	株式会社 ツクイ
事業所名	ツクイ厚木荻野グループホーム
訪問調査日	平成25年10月22日
評価確定日	平成26年1月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考になしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472900776	事業の開始年月日	平成17年12月1日	
		指定年月日	平成24年12月1日	
法人名	株式会社 ツクイ			
事業所名	ツクイ厚木荻野グループホーム			
所在地	(243-0203)			
	神奈川県厚木市下荻野1110-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成25年9月30日	評価結果 市町村受理日	平成26年2月21日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

小田急線本厚木駅からバスで20分程の所に位置し、昔ながらの一軒屋とマンションが林立する地域にあります。ご入居者様の以前のお住まいは厚木市内全域に広がっていますが、皆さん仲良く過ごされています。職員も近隣在住から電車で通勤の人まで幅広く。福祉の経験も様々です。それぞれの良さを発揮しています。ご家族様や初めて訪れるお客様も皆さん、施設の雰囲気の良いさと7年以上経つのに、綺麗にしていますね！と褒めて下さいます。その言葉に奢る事無く、これからも日々研修に励み、より良いケアに繋げて行きたいと考えています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8SYビル2F		
訪問調査日	平成25年10月22日	評価機関 評価決定日	平成26年1月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①このホームは福祉で有名なツクイの経営です。ツクイは福祉の総合会社であり、訪問入浴介護から福祉に取り組み、訪問介護、居宅介護支援、グループホーム、デイサービス、有料老人ホームから福祉用具、福祉教育までを扱い、また、関連機関のみまわり福祉会では特養、老健を運営し、ネットワークは北は北海道から南は沖縄県までに展開しています。グループホームは、神奈川で横須賀(2箇所)、川崎、横浜、三浦、厚木、平塚、小田原、湯河原の9箇所を展開しています。今後はサービス付高齢者専用住宅の展開を考えているそうです。立地としては、小田急線本厚木駅からバスで20分、徒歩3分の所にあります。ここは比較的新しく開発された住宅地で、自然もまだ残っている良好な環境です。ツクイでは、毎年1月に方針を出しています。今年度の方針は「事故0」「働きやすい職場」「個々のスキルアップ」であり、その実現に向けて取り組んでいます。更に、ツクイでは個人別に方針管理を実施しており、方針に沿った目標を定め、目標達成状況につき面接を実施しています。毎朝、社訓と全社理念、ホームの基本理念3項目を唱和し、その順守に努めています。

②地域との関係については、自治会への加入の他、内部に地域交流委員会を設置し、委員を中心として地域の行事へ積極的に参加し、回覧板を回してもらい、チラシを配って頂くなど良い関係ができています。老人会主催の公民会での展示会を見に行き、町内会主催の落語会、文化祭、講習会などにも参加しています。ツクイの夏祭りには近所の子ども達に来て頂きました。ツクイは全社を挙げて地域のお掃除を毎週金曜日に実施しており、職員はツクイのジャンパーを着て掃除を行い、地域に貢献しています。近隣の保育園との交流を模索中であり、ツクイの夏祭りにその保育園の親子1組が参加してくれました。

③研修に関しては正月に面接を実施し、本年度の目標の決定、働きやすさに関する意見を聞き、外部研修を含めた研修の希望も聞いています。ツクイの研修としてはスキルアップ研修、本部企画の研修計画、No. 2研修等がラインアップされています。ゆめおおかの研修は半分公的な色彩を持って、社協や振興会等と共催で実施しています。本部に研修計画を出し、組み込むべき項目の指定も含めて計画化しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ツクイ厚木荻野グループホーム
ユニット名	鮎ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員との話し合いで3年前に「理念」をコンパクトに凝縮し、作り直しました。毎日の申し送りにて唱和し、目指す所が誰でもいつでも分かる物としています。	ツクイでは、毎年1月に方針を出しています。今年度の方針は「事故0」「働きやすい職場」「個々のスキルアップ」であり、その実現に向けて取り組んでいます。理念は「個人の尊重」、「安心出来る家庭的雰囲気」、「地域とのかかわりあい」の3項目です。毎朝、社訓と全社理念、ホームの基本理念3項目を唱和し、その順守に努めています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議での問いかけと地域行事への参加を行っています。また、今年度は近隣保育園との交流も模索中です。（夏祭りに親子一組が来所）	自治会との関係では賛助会員へとなっています。地域交流委員会を設置し、委員を中心として地域の行事へ積極的に参加しています。老人会主催の公民会での展示会を見に行き、町内会主催の落語会、文化祭、講習会などにも参加しています。ツクイの夏祭りには近所の子ども達に来て頂きました。ツクイは全社を挙げて地域のお掃除を毎週金曜日を実施しており、職員はツクイのジャンパーを着て掃除を行い地域に貢献しています。近隣の保育園との交流を模索中であり、ツクイの夏祭りにその保育園の親子1組が参加してくれました。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議のみの活動となっている為今後の課題と考えています。「まるごと介護相談会」に於いては介護事業の理解や施設概要などを伝えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	頂いたご意見を最大限活かす努力をしています。	運営推進会議のメンバーは自治会長、老人会長、民生委員3名、地域包括支援センターの方、厚木市介護保険課の方、ご家族、本人それにツクイ関係者で年6回の実施しています。その時々で議題を考え、ホームの報告の他に、町内の方より行事の話、民生委員から介護関連の情報などをお聞きし、より良い方向を目指し話し合いをしています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事有る毎に相談をする様に心がけています。また厚木市主催の事業への参加も行っています。「まるごと介護相談会」	厚木市介護保険課には生活保護を含めた相談ごと等を相談しています。また、厚木市は福祉行政に理解が深く、市主催の介護職員確保に向けての「まるごと介護相談会」では介護人員の確保に尽力してくれています。昨年まではハローワークと共催でしたが、今年は厚木市単体で実施しました。地域包括支援センターは、特養敬和荘にあり、特養等の入所の相談にも乗って頂いています。イベントなどの企画もご案内頂いています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を始め、委員会活動の中で「拘束」と疑われる事例など話し合いを行っています。	身体拘束廃止委員会を作り、委員会を中心に身体拘束をしないためのカンファレンスを全員参加で開催し、現在は身体拘束をしないケアを実践しています。毎年研修にも参加し、身体拘束ゼロのケアを共有しています。鍵については、玄関、2Fの入口はオープンですが、1Fには外に出る方がいるので、現在はドアに鍵をかけています。言葉については、きつくなりがちな職員には面談して話し合い、自分で理解出来るよう指導しています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修も含め、介護現場の中で「疑われる事象」があった場合はカンファレンスでの話し合いや個別面談を行う様にしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	納得頂ける様な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎年一回のアンケート調査を行っている。	居室担当を決め、利用者の意見を重点的に聞き（個室などでは本音が聞けることがある）、カンファレンスも居室担当を中心として意見を出し合い、居室担当以外にも全利用者の思いを聞くように努めています。居室担当にすることによる自覚の向上が望めると考えています。ご家族については、運営推進会議や日常の訪問時でも意見を聞くようにしています。居室担当、1F、2Fのローテーションは年1回位は行なうようにしています。毎年1回のアンケート調査を実施し、ツクイ全体でも随時アンケートを取り、ツクイのホームページに分析を掲載しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議を行い。意見の収集や話し合いを行っている。	職員の意見は会議で定期的に出し合い、申し送り等でも報告提案をしています。個人的な問題については、相談出来るメンバー、管理者の他、地域の統括も相談にのれる体制にあります。目標設定に向けてアンケートを実施し、それに沿った面接を実施し、反省を基に今年度の目標を決めるようにしています。人事考課制度があり、目標管理も併せて考課を実施しています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年の運営方針や目標などを定め。満足度に繋がる様に努めている。今年度は満足度調査も行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画を始め、研修参加の機会を多く考えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同じ法人ではあるが、近隣のGHを集めた職員向けの研修を行っている。その場で他のGHの様子や活動など聞く事が出来る。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員全員がご利用者様状況把握が出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居面談時と入居契約時にご家族の希望を聞いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	口腔ケア、マッサージなどご本人の状況やご家族の要望をお聞きし対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の暮らしを優先に考えながら集団の中で孤立しない様に努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の訪問の折に、お話をしたり、お電話での連絡・報告・相談を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達の訪問や親戚の訪問をお願いしています。（次回また来て頂ける様な声掛け）	お友達の訪問や親戚の訪問をお願いしていますが、認知症の進行具合で、ご家族以外の訪問は少なくなってきています。ここをその方の自宅とし、近所の方との関係を大切に行きたいと考えています。入居者が土地の人であり、家族が近所に「認知症」をオープンにされ、民生委員が知っていること等が、地域との関係維持の「鍵」となっていくと思いますが、課題として取り組みの工夫を期待します。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの利用者様の性格等を考えながら孤立しない様努力をしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了後に繋がりのあるご利用者はありませんが、サービス終了時には「いつでもご相談下さい」とお声を掛けています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスで話し合いを行い、解決の方向を模索しています。	居室担当者は、利用者に関する気付きをメモして管理者に提出しています。管理者はこれらを纏めて原案を作り、カンファレンスで話し合いを行い、解決の方向を模索しています。本人の発した言葉は「」付きで介護経過記録に落としています。上手く言葉掛けをすると色々話してくれることを職員に伝えています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴をなるべく崩さないよう努力しながら、現在の生活が快適なものになるように、話し合いをしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りで状況確認を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングや日々の記録・バイタル表などチェックで検討・計画変更時には、ご家族の意見を反映しています。	法人全体で介護ソフトを導入し、全分野で展開していくことになっており、11月に訪問介護から導入が始まります。介護計画書が無いと請求が出来ない体制になって行きます。ケアの方針としては、個人ケアに徹し、現状は入所に際しては独自のアセスメント表、途中チェックに於ける再アセスメント表、日々の記録(バイタル表)、モニタリングシート(ひもときシート)を併用し、ICFの考え方をベースに、センター方式の一部を活用して介護計画を作成しています。計画変更時にはご家族の意見を反映しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の確認と経過記録・申し送りを活かし役立っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	幅広いサービスには繋がりませんが、近隣の方をお呼びしての「茶話会」を開催しました。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館行事や年末朝市など年間行事として計画を立てています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医で対応しています。	提携の荻野クリニックが24時間体制でバックアップしてくれており、90%程度が往診を受けています。ホーム内に掲示板があり、基礎体温、身だしなみ(手、爪、服装など)、体調を記入し、全員で確認しながらケアに活用しています。看護師はさくらクリニックから毎週火曜日に来てくれていて医療連携を取っています。訪問歯科も週1回、嚥下、口腔ケア等の指導をしてくれています。訪問マッサージも週2回来ています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問に加え随時相談出来る体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設から積極的に状況を尋ねたり、病院へ出向いたりしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の説明に加え、その状況となったじてんでの主治医を含めた話し合いを行っている。	医療連携、看取り加算を取り、往診医の24時間対応があり、医療面での体制は整えています。看護師はさくらクリニックの訪問看護センターから毎週火曜日に来てもらっています。入所の時に重度化に関する同意書を頂き、重度化が進んだ場合には、家族、医師と3者で相談して方向を決めることにしています。看取りの実績もあり、荻野クリニックは看取り対応は可能です。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修以外にも毎月の「事故検討委員会」での話し合いを報告、提案している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震訓練、火災訓練を毎年おこなっている。	消防署の協力を得て、定期的に避難訓練を実施し、確認しています。消防署の職員が近くにいるので、緊急時には応援して頂ける内諾を受けています。東日本大震災の時は、利用者の方々は落ち着いていたと、様子を伺いました。備蓄は3日分程度保持していますが、見直しを図る予定です。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時の声のトーンや表情など会議の度に確認しています。	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保に努め、特に、言葉掛けに関しては尊厳を傷つけることの無いよう努力しています。トイレ介助については、特に注意し、排泄時の声のトーンや表情などについて、会議の度に確認して共有しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り希望を聞くようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事に参加したく無い方や一人でお部屋で過ごしたい方などそれぞれの対応を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で選べる方とそうで無い方など柔軟に対応しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ・片付けなど出来る事をして頂いています。	基本的には独自の仕入れで、メニューをご利用者の希望に沿って決め、下ごしらえ、片付けなど出来る方には手伝って頂き、実施しています。献立表は1か月前に担当の日の職員が書き込むようにして作成しています。買い物に行った際、地域のお店に配達をお願いし、肉、魚は職員が調達しています。利用者と同行してマックスバリュ（スーパー）へ買い物に行っています。但し、食材会社の有効活用も視野に入れ、夕食については食材会社のメニューと食材を活用しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事量など表にして、日々チェックを行っています。粥食・栄養食など調整もしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアを、それぞれの状態に応じて支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導の方、対応の方などそれぞれの利用者様に合わせたケアをしています。	トイレ誘導の方、オムツ対応の方等、それぞれのパターンに合わせたケアをしています。出来るだけトイレでさせてあげたいと考えています。オムツについての切り替え時期にはカンファレンスを開き、切り替えの時期、一部使用など話し合うようにしています。最近では認知症が進み、失敗が増えたので、時間を決め、朝はトイレに座ってもらい、排便もトイレでももらっています。上手く排泄及び便意をもよおさない場合は申し送りして検討しています。便秘のケースではいきなり薬に頼らず、水分、運動、ヨーグルトなど色々試すようにしています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘薬での調整・坐薬（主治医と相談しながら）		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日や時間帯は決めています。その方の状況や気持ちを優先する様に努めています。また夏場は入れる日数を多くしています。	入浴の曜日や時間帯は決めています。その方の状況や気持ちを優先するように努めています。入浴を拒否される場合については、無理強いはないようにしています。もっと入りたい希望の方もいます。他の利用者、介護職員体制を見ながら対応しています。夏週3回、冬週2回を基準にしています。ゆず湯、菖蒲湯等季節を感じる対応も行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠していただける様、日中の様子を把握し、夜勤者への申し送りに活かしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜勤者が薬のセットをすることで、把握出来ていると思います。利用者様の個人ファイルの中にも処方箋を綴して、いつでもわかる様になっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事は限られていますが、カラオケや体操など取り入れたレクなどを行っている。食器拭き・洗濯物たたみなど、良くされています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別の外出支援はほとんど出来ていません。	年間行事にはなるべく全員参加出来るように支援しています。重度化等で十分な外出支援は行なえませんが、駐車場のベンチでの日向ぼっこしたり、洗濯物干し等により外気に触れることが出来るように支援しています。お買い物に行きたい人、どうしても外に出たい人には対応しています。普通の外出が難しいので、デイの車を借りたり、介護タクシーを利用したり（@3,000位）、季節毎の外出（愛川公園のもみじ、春のお桜やあやめの花見等）や個別のドライブを行っています。外で食事せず、ホームに帰って食事します。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人管理の方がいますが、残金などはご家族と確認しながら経過を見えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	極力希望をお聞きしている。（電話や手紙だけでなく、贈答品などの手配もした事がある）		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に気配りしています。	共用空間は、季節の飾り付けを中心に考え、X'masツリー、お月見のすすき等を飾って楽しめるように工夫しています。また、職員の作った刺繍、パッチワーク、昔作った作品や写真などを掲示しています。利用者の名前は書かない、貼らない、を徹底しています。テレビも利用者が言えば点け、チャンネルも利用者によって決めています。ホームのお便りはご家族が楽しみにしています。リビングには季節に合わせた作品を貼っています。行事委員会がイベントを企画し（企画書提出）、飾りつけも考えています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時々で居場所を考えながら過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫している。	本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを持ち込んで頂き、本人が居心地よく過ごせるように配慮しています。また、職員に手伝ってもらって、自分の居室に目印の飾りつけをつけたり、部屋に自分の作品を飾る等、工夫をしています。ミニ大掃除を月2回実施しています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物自体はバリアフリーになっています。気の付くところは、工夫しています。		

事業所名	ツクイ厚木荻野グループホーム
ユニット名	コアラ

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3. 利用者の1/3くらいの
		4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまにある
		4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
	○	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
	○	3. たまに
		4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員との話し合いで3年前に「理念」をコンパクトに凝縮し、作り直しました。毎日の申し送りにて唱和し、目指す所が誰でもいつでも分かる物としています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議での問いかけと地域行事への参加を行っています。また、今年度は近隣保育園との交流も模索中です。（夏祭りに親子一組が来所）		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議のみの活動となっている為今後の課題と考えています。「まるごと介護相談会」に於いては介護事業の理解や施設概要などを伝えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	頂いたご意見を最大限活かす努力をしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事有る毎に相談をする様に心がけています。また厚木市主催の事業への参加も行っています。「まるごと介護相談会」		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を始め、委員会活動の中で「拘束」と疑われる事例など話し合いを行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修も含め、介護現場の中で「疑われる事象」があった場合はカンファレンスでの話し合いや個別面談を行う様にしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	納得頂ける様な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎年一回のアンケート調査を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議を行い。意見の収集や話し合いを行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年の運営方針や目標などを定め。満足度に繋がる様に努めている。今年度は満足度調査も行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画を始め、研修参加の機会を多く考えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同じ法人ではあるが、近隣のGHを集めた職員向けの研修を行っている。その場で他のGHの様子や活動など聞く事が出来る。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に家族・利用者様と面談し要望をお聞きしています。入所前資料を事前に見ている。入所後は利用者様とのコミュニケーションを図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時前の情報を全職員が把握している。ご家族様・利用者様の話を傾聴している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に「入所検討会」を行い、ご家族様・利用者様との懇談があります。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援に基づいて利用者様の出来る所は行ってもらおう。家庭的な雰囲気を提供している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回はご家族様宛てに「利用者様情報」を送っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容院、外泊（お墓参り等）お孫さんの訪問、以前入所の施設からの訪問があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	多目的ホール（リビング）にて、くつろぎの空間を提供し、職員が中心となって、リハビリ・レクを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	昨年末に特養へ移動された方の訪問を行いました。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人を尊重しながら、利用者様の意向を聞きながら、ご家族様・職員と検討しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	経過記録の徹底を行い、基本情報や生活暦の見直しを行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る事はして頂いています。例えば、野菜の下ごしらえ・食器拭き・洗濯物たたみ等。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月に1度のカンファレンス。毎月の状況報告で意見を聞いている。ご家族様には訪問時・電話・書面にて意見を聞いています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	居室担当からの意見をカンファレンスにて共有し実践に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	提供していません。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館行事への参加・年末朝市への買い物。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診により、体調管理を行っています。緊急の体調不良時は主治医と連携をとり、対応に当たっています。（看護師週1回の訪問）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問に加え随時相談出来る体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設から積極的に状況を尋ねたり、病院へ出向いたりしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の説明に加え、その状況となった時点での主治医を含めた話し合いを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修以外にも毎月の「事故検討委員会」での話し合いを報告、提案している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震訓練、火災訓練を毎年おこなっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	行っています。例えば排泄介助時はプライバシーを損ねないように、タオル等を利用したり、大きな声での排泄確認は行わない様に注意しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望・要望等をお聞きする時は要望等が話せるような声掛けを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行っています。例えば入浴・レクの参加・各行事の参加は希望にそって支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の衣服交換（利用者様の好みの洋服）・毎朝の整容を行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	自分も作っていると自覚が持てる様に、出来る事はして頂いています。野菜の下ごしらえ・食器拭き等。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	最低でも1000ccの水分摂取を行うように努力しています。足りない時はゼリーで補う様にしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きは行っています。利用者様の中には歯科衛生士から口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレ声掛け・誘導を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	消化の良い物・繊維がある物・乳酸菌等の摂取を心掛けていますが4日位になると薬を服用しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	夏場は週3回、夏場は週2回入浴しています。体調・利用者様の意思を聞き入浴を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	しています。個々の部屋があり、日中も休息したりしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜間の職員が、次の日の薬のセット。服薬時は2人確認を行い服薬して頂いています。個人台帳に・薬箱へ処方箋を綴じて、いつでも確認出来る様にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お酒の好きな方に焼酎を提供しています。個人的に新聞を購読している方もいます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季の行事で外出している。新聞取りや散歩・花の水遣り・外気浴などを行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	していません。必要な時は職員からご家族様に連絡を取っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	極力希望をお聞きしている。（電話や手紙だけでなく、贈答品などの手配もした事がある）		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に季節に応じた作品を、利用者様に作って頂き展示しています。委員で玄関まわりの整備を行い、朝顔を植えるなど、季節を感じて頂ける工夫をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに1人用ソファ、3人用ソファがあり、各自に好きな場所に座ってもらっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時ご家族様・利用者様が以前使い慣れていた物や、好みの物を持ってきて頂いて設置して貰っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー。壁に利用者様の季節感ある作品を展示しています。自室の表示も工夫しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

ツクイ厚木荻野グループホーム

作成日

2013年10月22日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	7	表情や言葉掛けも大切である事を伝えているが、中々上手く出来ない職員も居る	ご利用者様への声掛けや表情など注意して行く	個別の面談や回りの職員がフォローする体制を作る	今年度中
2	18	個別の外出支援	ご利用者様の楽しみを増やす	職員配置なども工夫し個別支援を計画する	今年度中
3	38	一人ひとりに合わせたケアを目指しているが、時間帯によってはゆったりとした時間が過ごせない場面がある	ゆったりと過ごして頂く支援	カンファレンスでの話し合いや日々職員への声掛けを行う	今年度中

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。